

HP: <https://rakuno.org/>

同窓会通信 - 野幌だより -

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

トピック (スケジュール)

- 06月07日 埼玉県支部定期総会
- 06月12日 大学酪農学科12期同期会
- 06月20日 大学臨時理事代議員会
- 06月21日 長崎県支部総会
- 06月21日 柔道部牛歩会総会懇親会
- 06月22日 長野県支部総会
- 06月25日 近畿地区支部長会議
- 06月26日 短大同窓会総会
- 06月28日 群馬県支部総会
- 06月29日 千葉県支部総会
- 07月04日 創世寮第二回交友会
- 07月05日 農経12期50周年同期会
- 07月05日 **ホームカミングデー**
- 07月05日 白樺祭 (大学祭)
- 07月06日 獣医岡山県支部総会
- 07月27日 新潟県支部総会
- 08月30日 兵庫県支部総会
- 09月13日 東京都支部総会
- 10月11日 鹿児島島支部総会



酪農学園ホームカミングデー2025開催のお知らせ

酪農学園は、2025年7月5日(土)に卒業生や近隣にお住まいの方を対象にした「酪農学園ホームカミングデー2025」を開催します。

従来のホームカミングデーは、主に酪農学園大学・酪農学園大学短期大学部および附属高校の卒業生を対象として実施していましたが、今年度は酪農学園創立100周年に向けて“参加しやすい酪農学園の行事”を目指し、卒業生のご家族・近隣地域の方々にもお楽しみいただける企画を実施します。

また、記念講演は、本年にNHK総合でドラマ化された小説『リラの花咲くけものみち』の作者である藤岡陽子先生をゲストにお招きし、同作の舞台のモデルとなった本学園への思いについてお話いただきます。 実行委員会

RAKUNO GAKUEN

HOME COMING DAY 2025.7.5

- 学園ホール2階・生協食堂 ※卒業生・ご同伴の方のみ
- 10:30 ~ 受付開始
- 11:30 ~ 酪農学園同窓のつどい
「昔、学生だったあなたと新旧教職員が一堂に」 ※各種イベントを予定
- 黒澤記念講堂 ※どなたでも参加可能
- 13:30 ~ 記念礼拝
- 14:00 ~ 記念講演
- 1 学長 岩野 英知
「酪農学園の挑戦から広がる未来」
- 2 獣医学類6年 藤井 紗慧
「教育の転換点に立ち会って～学生から見たEAEVEと獣医師としての今後～」
- 3 小説家 藤岡 陽子 氏
「酪農学園大学に出会えた奇跡」 ※15:30～サイン会、書籍販売
- 白樺並木 ※どなたでも参加可能
- 10:00 ~ 白樺の植樹
- 11:15 ~ ※お好きな時間帯にご参加下さい。
- 13:00 ~ 途中参加も大歓迎です。

詳しくはコチラ！

事務局総務課
お問い合わせ先 TEL 011-388-4111
主催 学校法人酪農学園

酪農学園同窓会の現況(卒業生数)2025.04.01

目次:

ホームカミングデー2025案内	1
埼玉県支部総会報告	2
大学酪農学科12期同期会報告	2
近畿地区支部長会議報告	2
柔道部牛歩会総会・懇親会報告	3
長野県支部総会報告	3
学園創立100周年寄付事業	4
群馬県支部総会報告	4
編集後記	4

2024年度 累計卒業生数

大学院 計	1,778名
大学 計	34,987名
短大 計	9,487名
高校 計	22,223名
合計 計	68,475名
酪農義塾 計	303名
酪農学校 計	*91,517名
総合計	160,295名

地区支部の設置状況 () は未設置

北海道1区:石狩	3支部(1)	(江別)
北海道2区:道央	6支部(2)	(空知1)(胆振2)
北海道3区:道南	5支部(2)	(後志1)(後志2)
北海道4区:道北	6支部(1)	(留萌1)
北海道5区:道東	6支部(0)	26支部(6)
東北地区:	6支部(0)	
関東甲信越地区:	10支部(0)	
中部地区:	7支部(0)	
近畿地区:	6支部(0)	
中国地区:	5支部(0)	
四国地区:	4支部(0)	
九州地区:	8支部(0)	46支部(0)

同窓会開催報告

第11回酪農学園柔道部牛歩会総会・懇親会報告



大学・短期大学の柔道部同窓会（正式名称：酪農学園柔道部牛歩会）が2025年6月21日（土）に札幌市内のTKPガーデンシティ札幌駅前で開催されました。同会はこれまで3年に1度開催されておりましたが、これまで以上に同窓生や在学生との結束を強めるべく2023年に2年に1度開催することが決定され、今回2年ぶりの開催となりました。総会・懇親会に先立ち、大学キャンパス内の道場（健身館）に同窓生やそのご家族、在学生を交え合同稽古を行いました。参加された同窓生は昔を思い出しながら稽古に汗を流し、一緒に稽古した在学生にとってたくさんの刺激を受けた良い経験となりました。

合同稽古後は、会場をTKPガーデンシティ札幌駅前に移し総会・懇親会を行いました。これには同窓生および来賓33名、在学生10名の計43名が出席しました。総会開会に先立ち亡くなられた2名の方に対して黙祷を捧げました。続いて飯田進作会長（1970年卒）挨拶の後、議事に移り、事業報告、会計報告、事業計画が了承されました。その後、役員改選が行われました。会長には引き続き飯田進作会長が再選され、副会長には加藤智香子さん（1997年卒）が新たに就任されました。

今回で7回目となった同窓生による記念講演では2つの講演がありました。三本木 貴志さん（1996年卒）からは「葡萄の芽吹くまち南相馬」と題して、福島県で酪農農業を営まれ、東日本大震災で大変な思いをされたこと、現在は葡萄を育てワイン造りに奔走されていることが述べられました。懇親会会場には三本木さんが育てた葡萄を使って作られたワインが提供され、美味しくいただくことができました。葡萄を育てるといふこれまでに経験のなかったことへ挑戦すること大変さを知ることができました。

次に講演されたのは高階 亮介さん（2012年卒）からは「理想の果樹園を目指して」と題して、北海道の壮瞥町で観光果樹園を営んでいること、働く従業員を大切に考え経営改善に力を入れていることが述べられました。また、高階さんは現在酪農学園大学柔道部のコーチも務めていただいております。会社経営だけではなく、在学生へのご指導もいただいております。

講演後は、懇親会を開催しました。懇親会では元柔道部顧問で酪農学園大学名誉教授として北海道学生柔道連盟会長である安宅一夫先生からご挨拶をいただき、その後、顧問を務める酪農学園大学農食環境学群長である小糸健太郎先生から乾杯の挨拶がありました。

懇談では、終始懐かしくも和やかな時間を過ごすことができました。また、終わりには恒例となる酪農讃歌を歌い閉会となりました。（文責 大学柔道部副顧問 竹澤雄太）

関東甲信越地区長野県支部総会講演会報告



去る6月22日（日）に「ホテル信濃路（長野市）」において、コロナ禍以降5年ぶりに総会・講演会が開催されました。

午前の部では講演会が行われました。第一部では田中清司支部長が「サンディーゴの旅」と題し、聖ヤコブの墓があるコンポステラへのサンティアゴ巡礼路について講演されました。巡礼というよりは山歩きが主目的だったとのことですが、日本とは大きく異なる自然、習慣、食べ物など、興味深いお話でした。

第二部では岩野英知学長による「酪農学園の状況について」と題した講演がありました。少子化が大学経営に深刻な影響を与えている現状を伺い、大変な時代になったと改めて実感いたしました。母校がなくなってしまうことは非常に寂しいことです。そうならないよう尽力されている学校関係者の方々に感謝しつつ、できる限りの応援をしていきたいと存じます。

講演会に引き続き、総会が開催されました。矢島康宏事務局が進行を務め、森健副支部長の開会の辞、田中支部長の挨拶に続いて議事に入りました。令和6年度までの事業報告および収支決算報告、令和7年度事業計画および収支予算、令和7・8年度の役員体制、同窓会年会費の改定案が提案され、すべて承認されました。来賓挨拶として酪農学園同窓会の野英二会長よりお言葉を頂戴いたしました。

その後、新副支部長の佐藤一也氏の進行により懇親会が開催されました。来賓として関東甲信越地区の福山二仁会長よりご挨拶をいただき、岩野学長の乾杯で開宴いたしました。会の中では参加者全員から近況報告をしていただき、それぞれの現状や意外な一面を知ることができ、親睦を深めることができました。中締めは東京都支部の福田豊事務局長が行いましたが、話し足りないと感じるほど盛況のうちに散会となりました。

5年ぶりの開催で、冬眠期間が長かったこともあり、来賓を含め参加者は16名と、期待していたよりも少なかったのは残念でした。しかし、初めて参加された方が3名いたこと、同窓の仲間がこうして再び集まったことに感謝しております。今後は毎年開催できるよう取り組んでまいりますので、長野県にお住まいの同窓生の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

（文責 小平 満）



〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



酪農学園同窓会

酪農学園100周年記念寄付事業

創立100周年記念寄付事業

2024ホームカミングデーチャリティTシャツ募金

2,000円で購入いただくTシャツの一部が募金になります。

Tシャツ原価を引いた1,000円程度が

学校法人酪農学園 創立100周年事業への寄付になります。



Tシャツの色：ネイビー
左胸ワンポイント
・背中A4サイズ程度（白プリント）
※画像はイメージです。実際の生地の色やデザインが変わることがあります。

募集要項(7月よりホームページにて全文公開)

1. 募金の名称 創立100周年記念事業募金
2. 募金の目的・使途
 - 施設の大規模改修・再編
 - (1) 大学：研究・実習施設の整備・新設、事務管理棟の集約化など
 - (2) 高校：基本方針として、現有施設を活用し続けるための計画的改修など
 - (3) 附属施設：旧精農寮保存のための改修、馬術部施設の移転・新設、研修館周りのインフラ整備など

問合せ先：事務局財務課 011-388-4148 (寄付担当)

関東甲信越地区群馬県支部定期総会報告



令和7年6月28日（土）に高崎市の「エテルナ高崎」において第12回酪農学園同窓会群馬県支部定期総会が開催されました。

全27名の参加をいただき、盛会に開催できたことはひとえに皆様のご協力のたまものです。

来賓としては、中出同窓会副会長、福山関東甲信越地区同窓会長、福田東京都同窓会長、廣間埼玉県同窓会長にお越しいただきました。

武井支部長のあいさつに始まり、中出同窓会副会長、福山関東甲信越地区同窓会長のあいさつが続き、議案も全て承認されました。

記念講演としては同窓生である清水大樹氏に行ってもらいました。清水氏は長野原町北軽井沢地区で酪農経営者、獣医診療所長、北軽井沢ちえのわ協同組合代表理事といった多くの顔を持ち、広く活躍し群馬県地域の酪農業の発展に寄与しています。

講演終了後の懇親会では久しぶりの再会の方々も多く、おおいに盛り上がりました。また、歓談中に中出同窓会副会長からプロジェクターを使って懐かしい酪農学園の写真を披露していただきました。

楽しい時間は過ぎるのが早く、あっという間にお開きの時間となりました。次回総会での再会を約束して散会となりました。（文責 事務局長 宮内誠）



編集後記

この時期は蝦夷露？のせいか湿度が高く作物の生育にはいい季節となります。現在、7/5ホームカミングデーに向けての準備が進んでおります。同時に全国各地では埼玉県支部総会を皮切りに地区支部総会が開催されます。コロナ禍も終わり、同窓会活動が活発になることを祈っております。今年のホームカミングデーは「同窓のつどい」が開催され、軽食やビンゴゲームで楽しんでいただきました。周年事業等で来道された方もおりますが、爽やかな？（けっこう暑くなりましたが）北海道の夏を満喫しに家族連れでお越し下さい。



酪農学園大学
ブランドマークとキャッチフレーズ

生きるを学ぶ。
学びが生きる。

